

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑩

古典の世界（いろは歌・歴史的仮名遣い・古典常識）／ 漢字・古文の基礎・古典作品の知識

1 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（P. 1～P. 4）までです。
- 古典作品の本文は、教科書『国語 1』（光村図書）の「古典の世界」のページを開いて確かめながら解答してよい。
- 歴史的仮名遣いを直す問題は、特に指示がないかぎり、すべてひらがなで書きなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能（50点）

一

次の——線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。

1点×20＝20点

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ① 文章の <u>冒頭</u> を読む。 | ② 世の <u>無常</u> を思う。 |
| ③ <u>旧暦</u> の七月。 | ④ 俳句を <u>詠む</u> 。 |
| ⑤ 古文を <u>朗読</u> する。 | ⑥ 春の <u>名残</u> を感じる。 |
| ⑦ 夏草が <u>茂る</u> 。 | ⑧ 過ぎた日を <u>惜しむ</u> 。 |
| ⑨ <u>随筆</u> を読む。 | ⑩ 山里の <u>趣</u> 。 |
| ⑪ <u>うめ</u> の花がさく。 | ⑫ 冷たい <u>かぜ</u> がふく。 |
| ⑬ <u>かわ</u> の流れを見る。 | ⑭ この物語の <u>さくしゃ</u> は不明だ。 |
| ⑮ 友に <u>てがみ</u> を書く。 | ⑯ <u>さくら</u> の花が散る。 |
| ⑰ 月が明るく <u>てる</u> 。 | ⑱ 代々 <u>つたわる</u> 話。 |
| ⑲ <u>みじかい</u> 言葉で表す。 | ⑳ <u>ゆき</u> がふり積もる。 |

二

次の歴史的仮名遣いで書かれた言葉を、現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

2点×10=20点

- | | |
|---------|---------|
| (1) いふ | (2) をかし |
| (3) てふ | (4) あはれ |
| (5) ゐる | (6) はぢ |
| (7) みづ | (8) なほ |
| (9) くわじ | (10) こゑ |

※ 語の最初にくる「は」「ひ」「ふ」「へ」「ほ」は、直さないことに注意しなさい。

三

次の古語について、後の問いに答えなさい。

2点×5=10点

- (1) 「いとうつくしうてゐたり」の「いと」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 少し イ 非常に・とても ウ いつも エ やはり
- (2) 「あやしがりて寄りて見るに」の「あやし」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 不思議だ イ 美しい ウ うれしい エ さびしい
- (3) 「いとうつくしうてゐたり」の「うつくし」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 清らかだ イ かわいらしい ウ おそろしい エ めずらしい
- (4) 「つとめて、宿を立つ」の「つとめて」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 早朝 イ 努力して ウ 夕方 エ 急いで
- (5) 「竹取の翁といふ者ありけり」の「けり」が表しているものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 打ち消し イ 過去 ウ 希望 エ 命令

四

次の「いろは歌」を読んで、後の問いに答えなさい。必要に応じて、教科書『国語1』（光村図書）の「古典の世界」のページを開いて確かめてよい。

50点

【かなで書いたもの】

いろはにほへと ちりぬるを
わかよたれそ つねならむ
うみのおくやま けふこえて
あさきゆめみし ゑひもせす

【漢字をあてて書いたもの】

色は匂へど 散りぬるを
我が世誰ぞ 常ならむ
有為の奥山 今日越えて
浅き夢見じ 酔ひもせず

(1) 「いろは歌」とは、どのような歌か。「かな」という言葉を使って、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 5点

(2) いろは歌の中の次の言葉を、現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。 2点×3＝6点

- ① にほへと ② うみ ③ ゑひ

(3) いろは歌は、古くからどのようなことに使われてきたか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 神社でおまいりのときになえる、祈りの言葉として使われた。
イ かなの練習や、物事の順番を示すものとして使われた。
ウ 子どもに漢字の筆順を教えるために使われた。
エ 和歌の作り方を覚えるための見本として使われた。

(4) 「色は匂へど散りぬるを」は、どのような自然のありさまを表し、そこにはどのような考え方がこめられているか。「無常」という言葉を使って、三十五字以上四十五字以内で書きなさい。 6点

四 (つづき)

(5) 次の①～⑤の作品の説明として最もあてはまるものを、後のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。 1点×5=5点

- ① 竹取物語 ② 枕草子 ③ 平家物語 ④ 徒然草 ⑤ おくの細道

ア 江戸時代に松尾芭蕉が書いた、俳句をふくむ紀行文。

イ 鎌倉時代の末に兼好法師が書いた随筆。

ウ 平安時代の初めごろにできた、だれが書いたかわからない物語。

エ 鎌倉時代にできた、武士の戦いを語る軍記物語。

オ 平安時代に清少納言が書いた随筆。

(6) (5) の①の作品の主人公で、竹の中から見つけられた人物の名前を書きなさい。 2点

(7) 次の旧暦の月の呼び名は、それぞれ今の何月にあたるか。漢数字で書きなさい。 1点×3=3点

- ① 睦月 ② 弥生 ③ 師走

(8) 旧暦では、一月から三月までがどの季節にあたるとされていたか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 2点

- ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

(9) 次の①・②に答えなさい。 2点×2=4点

① 和歌が「みそひともじ」とも呼ばれるのはなぜか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 三十一人の歌人が集まってよんだから。 イ 全体の音の数が三十一になるから。

ウ 三十一の季語を使う決まりがあるから。 エ 毎月三十一日によまれたから。

② 俳句は、全体で何音からできているか。漢数字で書きなさい。

(10) 和歌と俳句は、形式の上でどのようにちがうか。音の数にふれて、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 4点

(11) あなたは、古典を学ぶことにどのような意味があるか。このテストで学んだことをふまえて、六十字以上八十字以内で書きなさい。 6点

(12) 古典について述べたものとして、正しいものを全て選び、記号で答えなさい。【完答】 4点

ア 「平家物語」は、琵琶法師などによって語りつがれてきた。

イ 「徒然草」は、「つれづれなるままに」という書き出しで始まる。

ウ 俳句には、季節を表す言葉（季語）を入れるのが決まりとされている。

エ 「竹取物語」は、中国で生まれた物語を日本語に直したものである。

オ 旧暦では、十月から十二月までが秋にあたる。

解答用紙① 知識・技能

中学1年 国語科 教材別テスト⑩「古典の世界」

1年 組 番 氏名 _____

知識・技能 小計

一 漢字 (1点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	
二 歴史的仮名遣い (2点×10)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	
	(9)		(10)	
三 古語の意味・ 古文の基礎 (2点×5)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)			

解答用紙② 思考・判断・表現

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑩「古典の世界」

1 年	組	番	氏名	
-----	---	---	----	--

思考・判断・表現
小計

合計（100点満点）

四 いろは歌と 古典常識 (50点)	(1)			
	(2)①		(2)②	
	(2)③		(3)	
	(4)			
	(5)①		(5)②	
	(5)③		(5)④	
	(5)⑤		(6)	
	(7)①		(7)②	
	(7)③		(8)	
	(9)①		(9)②	
	(10)			
	(11)			
(12)				

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。(1)(10)は25～35字、(4)は35～45字、(11)は60～80字です。

